

スル旨 穩カニ言渡シ解職手當並金匱封ヲ交附セ  
リ然ルに罷免工場並日柳善一郎ハ解雇ノ理由ヲ  
質シ且ツ手當等ノ當然請求權アレト此ノ一封ハ  
何故ナルヤヲ知ストテ作ケ他ノ職工亦青柳ニ倣  
後四時五十分期七日午前八時再會ヲ約シ微笑ヲ  
シ退場セリ唯須々木ハ猪木造船部長ヲ野倉  
ハ吉國造船部長ヲ解雇ノ言渡シ共ニ手當及金  
一封ヲ交付セシ無言ノ俚情然トシテ退場セリ之等ノ解雇  
職工ハ各部長ノ引見アリヲ以テ他ノ職工或ハ騷擾ヲ  
惹起スルコトキヤヲ懸念シタルモ全職工退場後ナリ  
シ以テ何等ノ異状ヲ見サリ

物部 罷免部ノ職工約二百名ニ會見 顛末ヲ報告  
シタルが定時 就業時ニ一同作業ナル趣ナルが柴田行  
政ヲ早引シ帰宅ナルが其後 會社側ニ於テハ左記  
職工ヲ解雇セントシ 六日後四時十分本工場同  
様一般職工退場ヲ待テ下田事務長外内重役  
列席上解職ヲ宣旨セントシテ行政 柴田ノ兩  
名ハ既ニ退場不在ニ付他ノ六名ハ口頭ヲ以テ解雇  
申渡シト同時ニ手當金ヲ交付セントシテ孰シモ埋  
由ナキ手當田ニ受クルヲ快シトセストテ返仕シ憤然  
色ヲ為テテ退場セリ

右申(通)候也

本工場ノ解雇職工

4